



つくほ治療院新聞

通巻8号

祝!! 創立50周年!!

今年が私が所属する学会が五十周年になります。私はまだ産まれていませんでした。が、当会は五十年前に産声をあげました：

昭和の始めの鍼灸は西洋医学を中心とした鍼灸術になっていました。このままでは本来の伝統医療はなくなってしまうと考えられ「古典に還れ」を合言葉に、弥生会を發起し、伝統鍼灸術を呼び戻そうとする動きが始まりました。この時、西洋医学的鍼灸と区別するために、東洋医学

的鍼灸を経絡治療と名付けました。この会を知った福島弘道氏は入会しようとしたが、戦争で失明していましたが、戦争で失明していたため「古典を読めない」奴に経絡治療は出来ない」と断られてしまいました。そこで、行動力のある福島氏は入会出来ないのなら、自分たちで学べばいいと、盲人五人を集めて「東洋はり医学会」の前身を発足させました。その後、初代会長の福島氏から五十年の年月が過ぎ、現在では三代目柳下会長の元、一三〇〇名

以上の会員と海外にも支部を持つようになりました。その式典が七月二十八日に行われますので後日報告したいと思えます。ちなみに、初代会長をモデルに、東洋医学の復権を目指す若き鍼灸師の物語が星雲社から「負けじ魂」として発刊されています。もし興味のある方がいらつしやいましたら、お貸し出し致しますので遠慮なくお声をかけて下さい。



『春の陽のように穏やかに』

ある飲食店で働くA子さんは、帰るお客様の後ろ姿に向つて、「ありがとうございました」という言葉の後ろで、「どうぞ、お幸せに」と念じているそうです。これはA子さんが幼いときから、お父さんに「どんな人にも、その人の幸せを願う気持ちで接することが、結局は自分自身の幸せにつながる」と教えられてきたからです。心づかいは目に見えるものではありませんし、その実行の結果も、多くの場合、すぐに表れてはこないでしょう。しかし、温かく慈しみのある心づかいは、やがて春の陽のように穏やかに、人々の心に浸み込んでいくのです。そのためには、家庭や職場で、まず自分から温かい心づかいを実行していくことが、幸せへの第一歩を踏み出すことになるのではないのでしょうか。

「一日一話」より

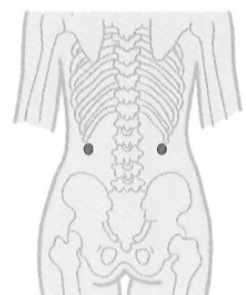
志室

(ししこ)

「志」は腎に対する精気のことを指し、

「室」はもちろん部屋のことです。昔から「腎には志が宿る」と言われ、腎に病があると疲れ易く精気が弱まり、体に元気がなくなる

と言われています。左右の肋骨の一番下端を結んだ線と背骨が交わるところが第二腰椎になり、ここから左右に7〜8センチほど外側にあります。いつも体がだるいなどという慢性疲労をはじめ、腰痛や生殖器、泌尿器系の症状にも効果があるとされています。



立秋

(りっしゅう)

二十四節季

太陽黄経百三十五度の時にあたり、旧暦七月申の月の正節で、新暦八月七日ごろです。暦の上ではこの日から秋になりますが、実際にはまだ真夏の感じですよ。



8月の定休日

○印はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

『五十肩』

ある日突然肩が痛くなり、放っておけば治るかなと過ごしていても、一向に良くならない。そこで、医者に行くが検査上異常が見当たらない。年齢も四十歳を過ぎていて、手を上げたり後ろに回すと痛い。夜中に痛みで目が覚める。これが五十肩です。簡単に言ってしまうと、レントゲンで骨折・脱臼はなく、**①**で靭帯損傷もない。それでもこのような痛みがある場合に診断されます。

五十肩は、始め「痛くて手を上げられない」「夜中に痛くて目が覚める」ひどい場合は「安静にしても痛みがある」の疼痛期から始まります。これは軽くて一〜二ヶ月、重い場合には

院長の独り言

五十肩というのは俗名で、正式には「肩関節周囲炎」と言います。肩の関節の周囲が炎症していると言っているのに「痛くても動かして下さい」「温めて下さい」「動かさないで下さい」という信

号ですから、無視して動かせば痛くなります。信号を無視すれば事故に繋がるのは車だけではありません。また、必要以上に温めると局所だけの血流が高まり、リバンドで血管は収縮して血流が悪くなります。

五十肩は放っておけば治ると思っている方も多いようですが、それもまた正解です。支障なく日常生活が過ごせるなら構いませんが、痛いしつらいでしょうから「冷やさない温めない保温」「信号を無視して無理に動かさない」「治療する」で一日でも早く治しましょう。

六ヶ月位続きます。これを過ぎると疼痛拘縮期に入り、激しい痛みは治まってくるが、肩関節の動きが悪くなってくる。そして半年〜一年が過ぎてくると寛解期に入り症状は徐々に治まってくる。しかし、何故か左右同時に痛くなることは少なく、治ったと思ったら反対側に痛みが出たりします。

五十肩は体を動かさない人が加齢に伴う組織の変化で起こり易いとされていますが、本当のところ原因は分かっています。

ちなみに、四十代でも六十代でも同様の症状は現れます。四十歳の方に五十肩は失礼なので、四十肩という言い方をしているだけです。



《連載》東洋医学講座

相生関係(母子関係)

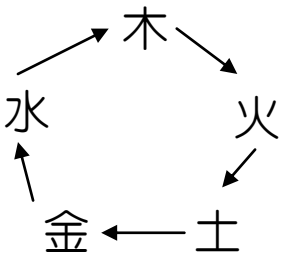
相生関係とは、前回五つに分けた一つが特定の相手を生ずる関係の事です。簡単に言えば、母が子を生む関係です。例えをあげてみましょう。

「土生金」（土は金を生ず）で考えてみます。土を掘ると金属類が発掘されます。これを「土は金を生ず」関係と言います。同様に「火が燃えることにより土が出来たり（火生土）、水を与えることにより木が成長します（水生木）」などがあります。この関係を医学に結びつけると以下ようになります。

五行	木	火	土	金	水
五臓	肝	心	脾	肺	腎

脾は土に配当されます。肺は金に配当されます。ですから「土は金を生ず」より「脾は肺を生ず」こととなります。脾は気血を製造している所です。製造された気血は肺の気の循環によって全身に送られます。もちろん肺そのものが必要とする気も脾で製造されますから、脾で気血の製造が少なくなれば、当然肺の気も少なくなります。よって、脾と肺は母と子の関係のようになります。

脾が悪くなると順を追って肺も悪くなってきてしまうので、肺の病気が出る前に脾を治療しておけば病気が防げるってことになりますね。これが東洋医学の「未病を治す」考え方です。



医食同源

ゴーヤ

体の熱感やのぼせ感を冷まし、疲れを取るにされます。また独特の苦みは、唾液の分泌を促し、胃腸の働きを整えるので、胃腸が弱い人の夏バテ防止や疲労回復、食欲増進などに効果があるとされます。また目の疲れや充血を取る作用があり、神経の高ぶりを鎮めるとされています。

編集後記

先日、都内でトレーナーをしていた頃に体を診させていただいたドラムスの方のライブに行ってきました。当時は「SEX MACHINEGUNS」を腰痛ヘルニアで脱退して、新しく始めた「DASEIN」で活躍していましたが、解散と共に一緒に仕事する機会はなくなってしまうました。一緒に仕事をしていたのは、五年以上前なのに、ひよんな事からライブに招待していただきました。ライブ後、楽屋で久々に話が出来て懐かしかったです。現在は「CYCLE」というバンドで活躍してまですの、興味のある方は応援ヨロシクお願いします。

